



Vol.192 発行:2024.9.15 出雲市立総合医療C 病院だより編集委員会

## インフルエンザ予防接種のご案内

当院でのインフルエンザ予防接種を次のとおり行いますので、希望される場合は、来院又は電話にて必ず予約をしてください。なお、ワクチンがなくなり次第、終了とさせていただきます。

- |         |   |                  |
|---------|---|------------------|
| 1. 接種日  | 高齢者・一般                                  | 毎週火曜日、木曜日、金曜日の午後 |
|         | 小児(15歳以下)及び保護者                          | 毎週火曜日            |
| 2. 接種開始 | 高齢者・一般                                  | 令和6年10月10日(木)～   |
|         | 小児(15歳以下)及び保護者                          | 令和6年10月15日(火)～   |
| 3. 申込方法 | 紹介患者窓口又は電話で予約してください。電話：0853-63-5111(代表) |                  |
| 4. 申込開始 | 令和6年9月24日(火) 8:30～                      |                  |
| 5. 料金   | 出雲市民の方は下表のとおり(他市町の方は、お尋ねください。)          |                  |

対象	料金
①満65歳以上の方	2,000円
②満60歳～満65歳未満の方で心臓・じん臓・呼吸器に1級程度の身体障がいのある方	2,000円
③満65歳以上で生活保護受給者	無料
④満65歳未満の方(②を除く。)	4,600円
⑤小児(15歳以下)2回接種	1回目：4,600円 2回目：3,000円

## マイナ保険証をご利用ください

当院では、マイナンバーカードを利用した健康保険証の資格確認を行っています。利用にはマイナンバーカードの事前登録が必要ですが、専用機器を利用し、数分で登録することができます。

なお、従来どおり健康保険証での資格確認にも対応しています。

皆さまのご協力をよろしくお願い致します。



**データに基づく  
より良い医療が受けられる**

薬剤情報等の提供に同意をすると、おくすり手帳を見せなくても過去に処方されたお薬や特定健診などの情報を初診でも医師・薬剤師にスムーズに共有できます。



**手続きなしで高額療養費の  
限度額を超える支払いが  
免除される**

マイナンバーカードで資格確認をおこなうため、紙の認定証の持参なし&手続きなしで高額療養費の限度額を超える支払いが免除になります。

# 9月はアルツハイマー月間です

## ● 9月21日は世界アルツハイマーデー

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発活動を実施しています。また、わが国でも2024年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において、国民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるために、毎年9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定めています。

アルツハイマー病は、認知症の原因となる病気の一つで、認知症全体において半数を超える割合を占めています。認知症は誰もがかかる可能性のある病気です。85歳以上の4人に1人にその症状があるといわれています。また、厚生労働省が5月に発表したデータでは2040年には認知症の人が584万人、軽度認知障害(MCI)の人が612万人と推計しています。これは国民の約3人に1人が認知機能にかかわる症状がある計算になります。

認知症の人は、つい先ほどした体験を忘れてしまうという症状から、過去から現在への連続性がなくなるために、絶えず不安な状態におかれていることになります。このような心理を理解する周囲の関わりが、安心感を与えるコミュニケーションにつながります。

**認知症を正しく理解し、本人や家族を地域全体で支えましょう**

## ● アルツハイマーデー関連資料の設置について

当院の健康ひろば前に、世界アルツハイマーデーに関連したポスターやリーフレット、認知症に関する冊子を設置します。

興味のある方は、ぜひ手に取って読んでみてください。



共に生き

ともに歩もう

認知症



世界アルツハイマーデー  
(認知症の日)

9月21日は世界アルツハイマーデー(認知症の日)です。  公益社団法人 認知症の人と家族の会

出典：公益社団法人認知症の人と家族の会 HP より

## 《乳がん検診》

# 乳腺エコー検査を受けてみませんか？

乳がんは年々増加傾向を示し、女性の罹患率第1位のがんです。30代から増え始め、40代～60代をピークに発症し、日本人女性の9人に1人がかかる病気とされています。

しかし、乳がんは早期発見・早期治療で生存率が高まります。定期的に検診を受診しましょう！



【全国がん登録罹患データより作成】

### ○ 乳腺エコーってどんな検査？



- 超音波（周波数が高く耳に聞こえない音）の反射を利用して、触ってもわからないくらい小さな「しこり」を見つけることができます。
- X線を使用しないため、被曝の心配はありません。
- 検査方法は乳房にゼリーをつけ、プローブという機械を乳房に沿って滑らせながら乳房全体を観察します。
- 検査時間は15分程度です。

### ○ マンモグラフィと乳腺エコーはどっちがいいの？

現在、死亡率が減少する効果が認められている乳がん検診として、マンモグラフィが推奨されています。マンモグラフィは乳がんの初期症状である微細石灰化の発見が得意ですが、40歳未満の若年女性の場合、乳腺が発達しているためマンモグラフィの画像が全体的に白っぽくなり、しこりの有無がわかりにくいことがあります。こうした乳房を「高濃度乳房」といい、このような場合は乳腺エコー検査が有用です。

乳腺エコー検査は痛みがなく、体への負担はほとんどありません。妊娠中の方や20～30代の方、またマンモグラフィ撮影時の乳房の圧迫の痛みが耐えられない方等は、乳腺エコー検査がおすすめです。

実施日

平日（月曜日～金曜日）午後

料金

3,850円（税込）

お申し込み  
問い合わせ

出雲市立総合医療センター（健康管理センター）

TEL：0853-63-5111（代表）

0853-63-5119（直通）